

浜松市(北陸・中部ブロック)

【計画期間 平成27年1月～32年3月】

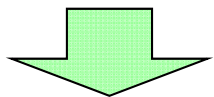
江戸～:徳川家康公をはじめとする有力大名の城下町、東海道の宿場町として繁栄
 明治～:鉄道開通後、繊維・楽器などの産業基盤が確立
 ～現在:人口約81万人、面積約1,558km²、オートバイ・楽器を中心としたものづくりのまちとして発展

【前計画の概要】

○行政機関や商業・業務機能の集積の促進、土地
 区画整理事業・再開発事業などの都市基盤の整
 備を通じ、政令指定都市・浜松の顔にふさわし
 い中心市街地の創出に取り組んだ。
 (計画期間:平成19年8月～24年3月)

【中心市街地の変化】

- 土地区画整理事業や再開発事業により、集合住
 宅やオフィスの供給が進み、居住人口及び就業
 人口が増加。
- 大型商業施設の出店に対し財政・税制支援等を
 講じ、浜松駅周辺の出店を促進。
- 一方で、景気低迷や地権者問題等により、核事
 業であった鍛冶町地区再生事業(松菱百貨店跡
 地)が頓挫し、中心市街地の空洞化に歯止めが
 かからない状況。また、老朽建築物や空き地・
 空き家の増加など、都市機能の更新が必要。

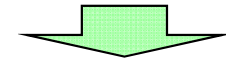


【目指す中心市街地像】

○『浜松版コンパクトシティ』の核づくり ○『創造都市・浜松』の顔づくり ○『浜松版都心経営モデル』の確立

【前計画の目標指標】

目標	指標	基準値	目標値(H23)	最新値(H23)
華のある商業空間を誇る賑わいある中心市街地	小売販売額	1,392億円(H16)	1,700億円	917億円
	歩行者通行量	102,489人/日(H18)	142,500人/日	81,584人/日
誰もが住みたくなる潤いある中心市街地	居住人口	5,891人(H18)	7,800人	6,892人
新しいビジネスを生む活力ある中心市街地	就業人口	38,918人(H16)	44,288人	41,318人



【新計画の目標指標】

目標	指標	基準値(H26)	目標値(H31)
来たい都心 ～にぎわいのある魅力あふれる空間の創出～	歩行者通行量	99,392人/日	109,300人/日
	公共施設入場者数	1,493,078人(H25)	1,550,000人
住みたい都心 ～快適な都心生活空間の創出～	居住人口	11,359人	13,100人
参加したい都心 ～市民協働による浜松型都心経営モデル～	空き店舗区画数	71区画	53区画

来たい都心(まち)
 ～にぎわいのある魅力あふれる空間の創出～

住みたい都心(まち)
 ～快適な都心生活空間の創出～

参加したい都心(まち)
 ～市民協働による浜松型都心経営モデル～

【主要事業】
 ・浜松城公園整備事業
 ・新駐車場システム構築事業
 ・まちなかアート整備事業 など

【主要事業】
 ・旭・板屋A地区市街地再開発事業
 ・常盤町優良建築物等整備事業
 ・浜松都市計画事業高竜土地区画整理事業 など

【主要事業】
 ・都心既存ストックの利活用事業
 ・創業都市浜松推進事業
 ・浜松こども館を核としたまちなか子育て支援事業 など

浜松市中心市街地活性化基本計画の事業概要

来たい都心(まち)

～にぎわいのある魅力あふれる空間の創出～

①浜松城公園整備事業

徳川家康公顕彰400年記念事業

「出世の街浜松」プロモーション事業

案内所、駐車場整備、天守曲輪土堀及び富士見櫓復元工事を実施し、浜松城の魅力向上。徳川家康公没後400年となる平成27年度には静岡市及び岡崎市と連携したイベントの開催に加え、浜松城までの動線や戦略的なメディア活用などを通じて都市ブランドの確立を目指す。



②新駐車場システム構築事業

まちづくり団体、駐車場事業者及び商店街との連携によって来街者の利便性向上などを目的とした新たな駐車場のシステム(発券機、精算機、認証機等)を構築。

③まちなかアート整備事業

中心市街地に一定のテーマ性を持つアート空間を整備することで、市民の創造性の喚起とまちなかの魅力を創出。



住みたい都心(まち)

～快適な都心生活空間の創出～

④旭・板屋A地区市街地再開発事業

JR浜松駅前での市街地再開発事業において、商業・住居の複合施設建設による土地の高度利用と都市機能の更新を図り、『浜松の玄関口』に相応しい空間を創出。



⑤常盤町優良建築物等整備事業

中心市街地内で移転した病院跡地に120戸規模の集合住宅を建設し、土地の高度利用と利便性の高い快適な居住空間を確保。

⑥高竜土地区画整理事業

JR浜松駅南部の高竜地区において、道路、公園等の公共施設を整備し、都心部に相応しい商業業務施設及び都心型住宅が立地する市街地を形成。



②③⑦⑧はエリア全域で実施

参加したい都心(まち)

～市民協働による浜松型都心経営モデル～

⑦都心既存ストックの利活用事業

リノベーションスクールを開催し、サブリース事業の実施主体となる組織や人材(浜松家守舎)を育成し、遊休不動産の活用を促進。

⑨浜松こども館を核としたまちなか子育て支援事業

子育て世代の女性を中心に子育てしやすい街の環境整備を検討するとともに、子育て関連店舗の出店を図る。

⑧創業都市浜松推進事業

遊休不動産のリノベーション等による創業支援施設やシェアオフィスの設置・運営に加え、雑貨市「まるたま市」を開催し、創業を支援。

